

はじめに

公務員試験講師の中島基浩です。「文系のジェネラリスト・試験のスペシャリスト」です。

一九九四年の外務I種試験に合格し、外務省に四年ほど勤めておりました。海外で病になり、その病は再び海外に出ると再発する可能性の高い性質のものでした。在外勤務には差し障りのある身になりましたので、その後公務員試験の講師になって、二十年以上経ちました。

現在、社会科学、人文科学、文章理解、法律科目、行政系科目、論作文、時事、面接対策などの科目を担当し、大手予備校の全国放送クラスを収録したり、関西圏の本校、三十三の大学で講義したりした経験があります。ブログ（中島基浩公務員試験合格ブログ）も三年以上続けており、更新しています。講師をしている間も受講生の気持ちを忘れてはいけなく、行政書士と精神保健福祉士の資格を取得しました。講義やブログ、資格取得の経験から得られた公務員試験合格のために必要な知識、ノウハウ、ポイントを、この機会にまとめてみようと考えました。

公務員というと、どういうイメージをお持ちでしょうか。「窓口で市民の相手をしている」「定時で

帰れそう」「安定している」「災害のときは大変そうだ」。まさにさまざまでしょう。いいイメージをお持ちの方は、公務員になりたいと思われるかもしれません。

入り口のイメージは何であれ、日本で公務員になろうとするならば、公務員試験に合格しなければなりません。この本では、「公務員ってなんとなくつかよさそう」という、公務員試験はこれからというライトな方から、「今一生懸命勉強しているけど、今一つ公務員試験の正体がかめない」という、公務員試験絶賛勉強中のコアな方までを対象に論述を進めます。そもそも公務員と民間の違いは何かということから、公務員の面接試験の具体的な対策まで、幅広くお知らせし、ライトな方にもコアな方にも有益な情報を提供しようと思っております。

私も五十を越え、孔子がいう「天命を知る」年齢になりました。この本を書くことは、これから公務員試験を目指す方への手助けであり、また私がこれまでお世話になった諸先生、諸先輩への恩返しでもあります。本来なら、直接一人ひとりの諸先生、諸先輩に御礼を言わなければならないところですが、先達には「礼は後輩に返せ」と言われると思いますので、この本を書いて後輩を合格へと導くことで、諸先生、諸先輩へのせめてものご挨拶に代えたいと思います。私を知り得、書き得る限りの公務員試験の真髄を、この本に著すことが私の天命なのです。

この本を公務員に関心のある方に一人でも多く読んでもらうことによって、公務員試験の具体的なイメージをつかんでもらったり、合格までの最短距離を進んでもらえたりすれば、筆者にとってこの上ない喜びです。